



県政報告 県政を身近に

平成28年
2016
冬季号

Vol.18

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

平成28年の新春を迎えました。私は、昨年4月の県議会議員選挙において2期目の当選をさせていただいて以来、毛呂山、越生、鳩山地域をはじめ活力ある埼玉県をめざして、さらに幅広い議員活動を展開してまいりました。

今年は、全ての自治体において、地方創生の総合戦略が整い、いよいよ人口減少社会における持続可能な地域づくりがスタートします。地域の皆さんが危機感を共有し知恵を出し合うこと、その本気度が成功の鍵を握っています。明るい未来をつくるために、勇気を持って一歩前に踏み出しましょう！ 私もいっしょに頑張ります。

平成27年12月定例県議会 (平成27年12月7日～12月22日)

「埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」の議案が継続審査に決定



知事から提出された戦略案に対して、閉会中の特別委員会では出された意見・提言の反映状況、また「素案」に比べて大幅に増えた(約3倍)追加内容について、更に審査する必要があります。このため今議会中では時間が十分取れないことから、特別委員会でも継続審査の決定をし、本会議において可決されました。今後2月定例県議会に向けて、特別委員会において引き続き審査を行うこととなりました。なお、総合戦略は、平成28年3月までに策定することが国から求められています。

補正予算は上程されず

一般会計をはじめ全会計での補正予算案の提出がないのは、県の12月定例会としては地方自治法が制定された昭和22年以来初めてです。臨時国会が開かれず国の新たな経済対策の動きがないことや、予算措置が必要な災害等が発生しなかったことなどが主な理由です。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会」

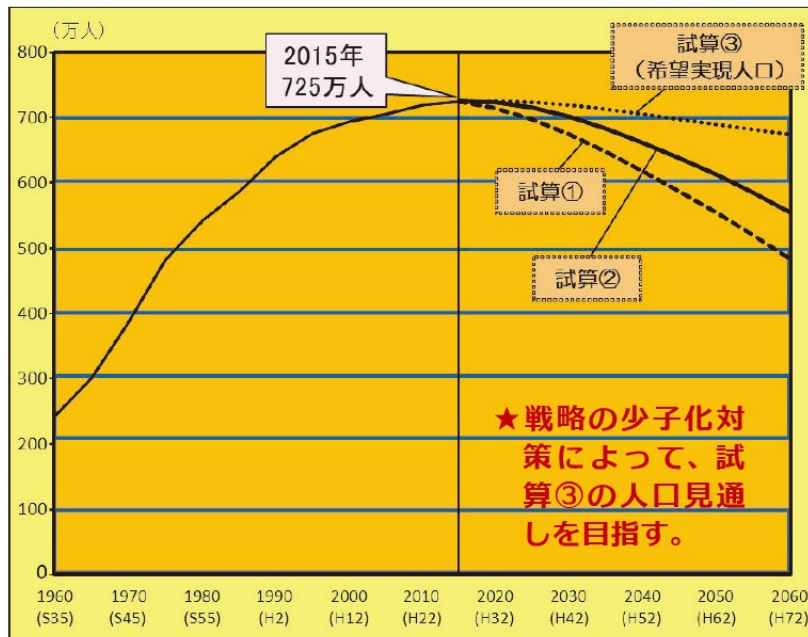
総合戦略(案)における将来の人口試算

9月定例県議会前に、知事から議会に対して県の「総合戦略(素案)」が示されたので、9月定例県議会において特別委員会が設置され、その内容を審議してきました。県議会では、10月から11月にかけて5回の特別委員会の審査を経て、委員会としての意見・提言及び参考意見を知事部局に送付しました。これらを加味した上で執行部が素案を見直し、12月定例県議会に議案として上程されました。

【これまでの審議経過】

◆特別委員会における閉会中の審査(10月26日、28日、30日、11月16日、20日)

※武内県議は当委員会のメンバーです。



試算①—社会増収束

埼玉県への転入超過がなくなり、合計特殊出生率が低いままと仮定。2060年には500万人を切る見込み。

試算②—現状維持

現在の転入超過が今後も続くと仮定。2060年には550万人台になる見込み。

試算③—希望実現人口

合計特殊出生率が2030年に希望する1.78となり、さらに2040年に2.07に上昇すると仮定。人口はおおむね横ばいで、2060年に700万人を若干切る程度。

〈主な条例〉

●県から市町村への権限移譲

【パスポートの交付できる市町村の状況】

- 平成28年度移譲(新規)
- 移譲済の市町村(単独)
- 移譲済の市町村(近隣の市町村から事務委託)



※毛呂山町・越生町・鳩山町の方は坂戸市役所で申請できます。

◆新たにパスポートの交付ができる県内自治体:

熊谷市
狭山市
所沢市

◆新たに委譲を行う事務(3事務)

- ①認定こども園の認定等(さいたま市)
- ②サービス付き高齢者向け住宅の登録等(和光市)
- ③特定建築物環境配慮計画の受理等(熊谷市)

◆処理する市町村が拡大する事務(32事務)

請願

私立幼稚園の父母負担の軽減を求める請願が採択される

自民党議員の紹介による上記の請願が、採択されました。その内容は、「園舎の耐震化等の補助がひと段落ついた以降には、父母負担を軽減するための対策を充実させるべきである。」との平成27年2月定例県議会の付帯決議を踏まえて、所得制限や第2子以降の上乗せ補助などの制度整備を行い、新たな保育料軽減補助の実施を求めるものです。

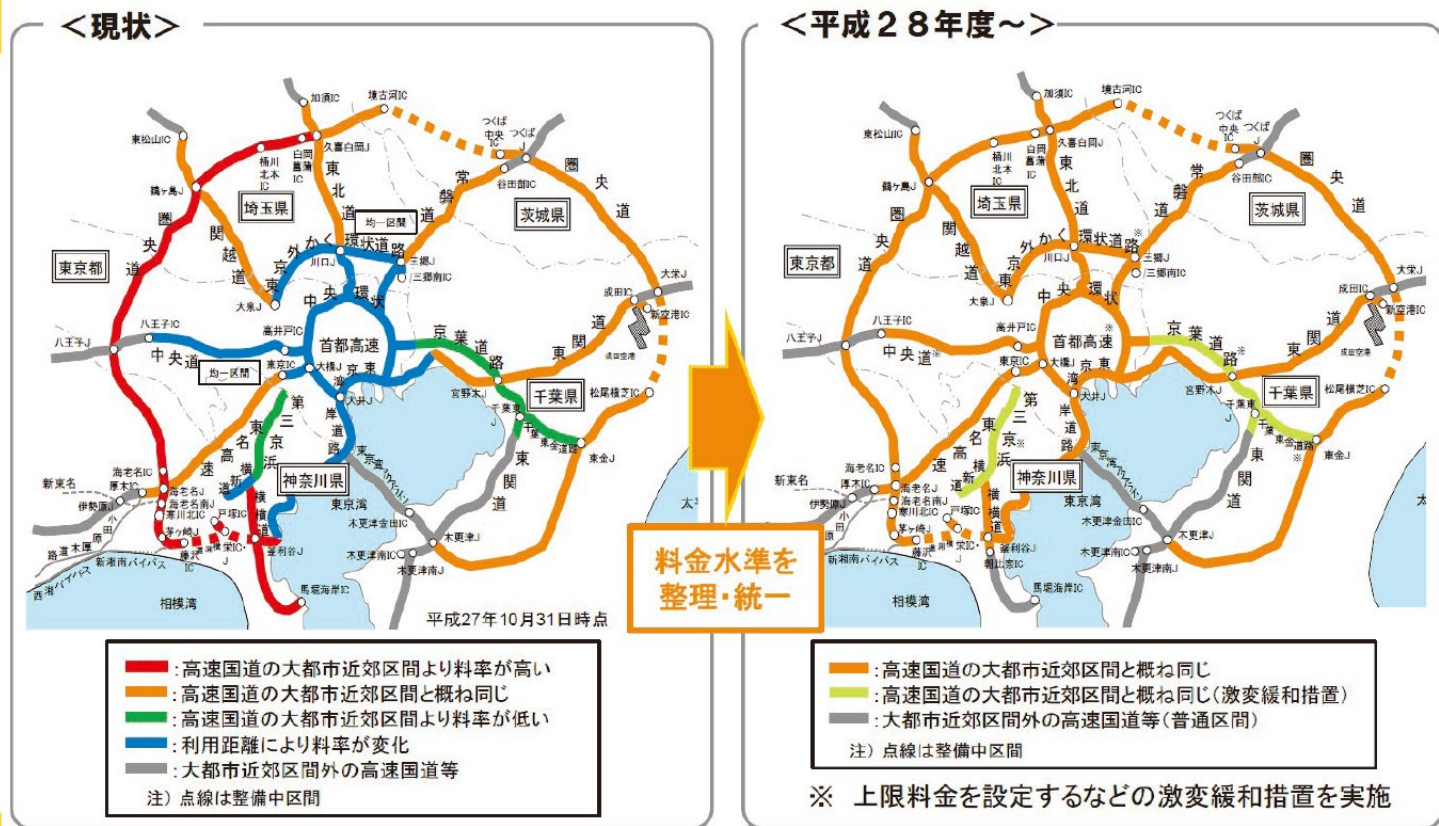
事件議決

①首都高速鉄道株式会社の埼玉県道高速葛飾川口線等に関する事業の変更の同意

県内を走る首都高速道路（4路線）の道路管理者である埼玉県に、①圏央道内側の高速道路の料金体系を統一し、②起終点を基本とした料金にする（都心経由と圏央道経由の料金が同額になる）ことなどの同意を求めます。具体的には、

(例1) 圏央道の料金が安くなり、首都高の料金体系の変更と上限料金（普通車1300円）を設定する。

(例2) 首都高の車種を現行の2車種区分から5車種区分にする。（普通車、大型車から、新たに、中型車、特大車を区分する。）など



武内まさふみの活動日誌

■ 10.17 西入間地域安全暴力排除推進大会 (毛呂山町福祉会館)

西入間警察署管内の2市3町の関係団体が参加して、功労者とポスター入賞者（小中学生）の表彰を行うとともに、活動方針の決議を採択。

■ 10.24 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム (さいたまスーパーアリーナ周辺)

国内外からの参加選手が、迫力ある走りを見せてくれました。障がいのある選手のハンディを感じさせない走りに感激。



▲巧みに自転車を操作する選手

■ 10.26 川越地域防犯のまちづくりキャンペーン (ウェスタ川越)

本年度は、例年行っている街頭などのキャンペーンではなく、地域の関係者が集まって、取り組みの宣言を行いました。

■ 10.30 フォレストベンチ工法施行箇所の視察 (日野市)

東日本大震災にも耐えた斜面の崩落防止の工法、フォレストベンチ工法の施行箇所を視察。がけが民家のすぐそばまで迫っています。



▲外装には西川材を使用

■ 11.4 (仮称) 新川越越生線の事業促進についての知事要望 (県庁)

関係市町長と県議会議員が、地域活性化に不可欠な圏央道へのアクセス道路として早期事業化を要望。



▲要望書を受け取った岩崎副知事と共に

■ 11.9～10 環境農林委員会による視察 (宇都宮市、郡山市)

道の駅つつのみやろまんちつく村 (宇都宮市) は、指定管理者が地域6次産業化創造拠点に位置づけ、地域農業へ付加価値を生み出す取り組みを行っています。



▲参加した環境農林委員会のメンバー

■ 11.11 西川地域林業対策協議会による要望活動 (県議会・県庁)

西川材を有する関係市町長と林業団体が、県議会議員と共に埼玉県と県議会議員長に対して、林業対策の推進を要望。



▲要望書を受け取った上田知事と共に

■ 11.12 「営農型太陽光発電事業 (ソーラーシェアリング)」の視察 (美里町)

事業者が休耕地を借りて太陽光発電パネルを設置するとともに、パネルの下に榊を育成する計画です。農業者は周りの農地の管理を受託し、榊(さかき)の育成・販売をします。



▲パネルの下に植えられた榊

■ 11.14 彩の国食と農林業ドリームフェスタ (川口市：SKIPシティ)

県内の農林業団体等が農・林産物の展示販売を行いました。



▲雨の中多くの人出で賑わいました

■ 11.17 福祉・医療ロボットスーツの体験視察 (つくば市)

サイバーダイナミクスが開発・販売しているリハビリ・障がい者用のロボットスーツを装着し、将来の応用分野の拡大を実感。



▲右足に2kgのおもりをつけて歩行

②指定管理者の指定の承認

県平和資料館や県営公園をはじめとする31の県営施設の指定管理者を、平成28年4月から5年間指定することを承認しました。

▶ 平和資料館の展望タワー



■ 11.28 農業大学校創立70周年記念式典 (熊谷市)

農業大学校が創立70周年を迎え、今年4月に移転した熊谷市の新校舎において式典が行われました。



▲上田知事のあいさつ(右端が武内県議)

■ 12.12 里山活性化講演会の開催 (毛呂山町福祉会館)

里山活性化研究会 (代表：武内政文) の主催で「地方創生の実現を目指して～地域活性化に向けた民間と行政との連携のあり方～」をテーマに、愛知淑徳大学教授真田幸光氏を講師に迎えて、講演していただきました。



▲3町から約70名の方が参加

■ 12.17 埼玉県農業会議 (常任会議員会議)

■ 12.21 埼玉県農業会議

■ 12.25 埼玉県環境審議会